

結果概要

1. 人口総数

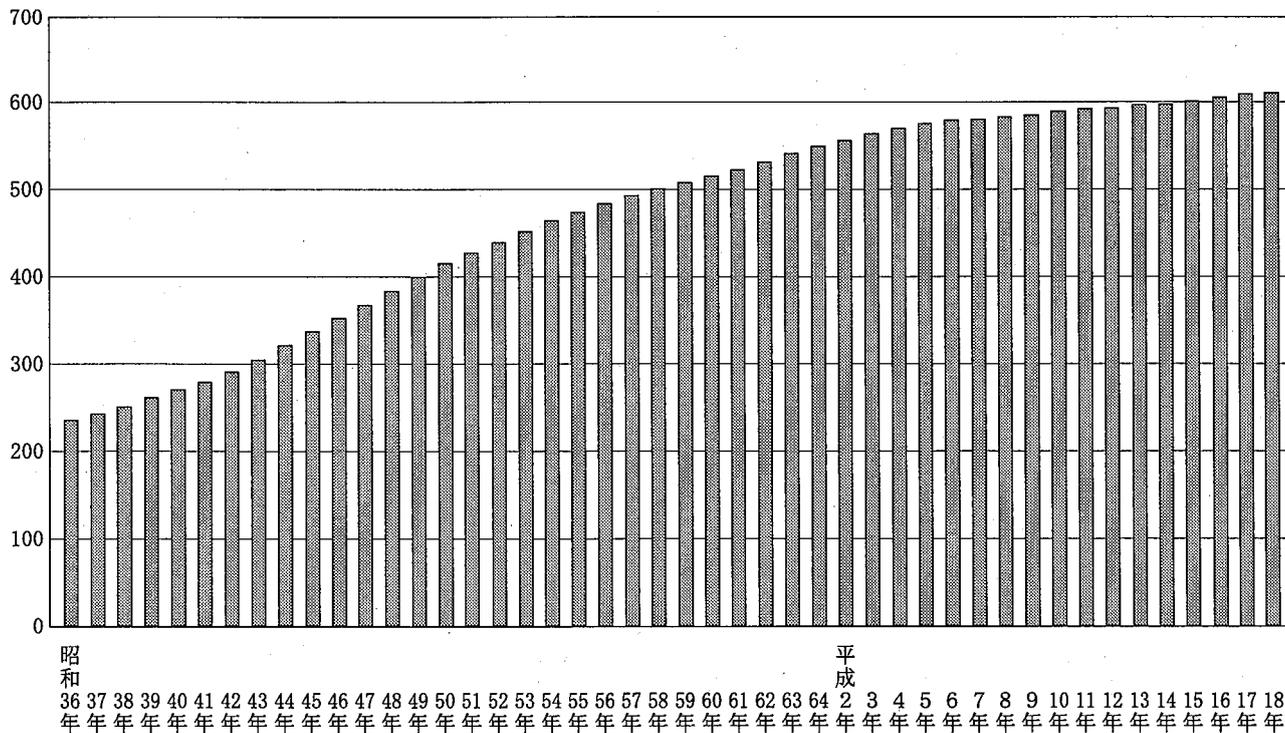
県人口606万人

平成18年1月1日現在の本県の人口は6,060,513人で、前年人口の6,050,603人に比べ9,910人、率にして0.16%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。

平成17年12月に公表された平成17年国勢調査速報によると、本県の人口は、6,056,159人で全国第6位となっている。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）

(単位：万人)

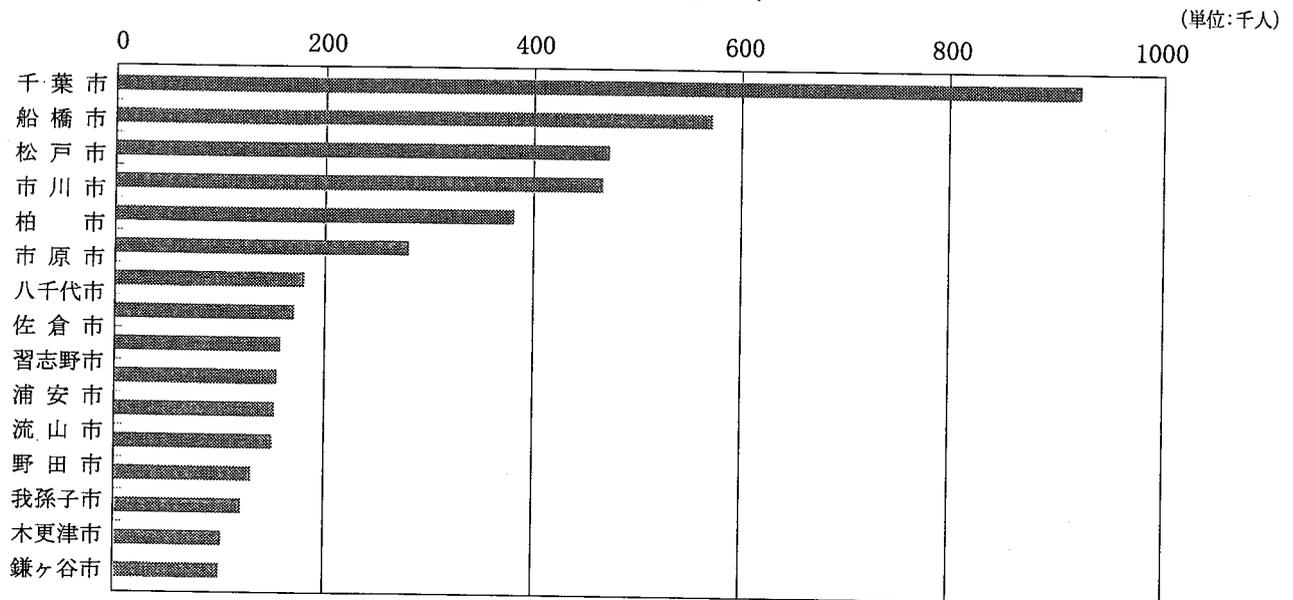


千葉市人口92万5千人
県人口の15.3%を占める

平成18年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（34市）のうち10万人以上の市は16市あり、そのうち千葉市が92万5千人（県人口に占める割合15.3%）で最も多く、郡部人口47万8千人（同7.9%）より多くなっている。以下、船橋市57万人（同9.4%）、松戸市47万2千人（同7.8%）、市川市46万5千人（同7.7%）、柏市38万1千人（同6.3%）の順で続き、この5市で県人口の46.5%を占めている。

郡部（33町5村）では、大網白里町が4万9千人（同0.8%）で最も多く、以下、小見川町2万5千人（同0.4%）、栄町2万4千人（同0.4%）、成東町2万4千人（同0.4%）、酒々井町2万1千人（同0.4%）の順となっている。

図2 10万人以上の市



2. 人口増加

人口増加数9千9百人
増加率0.16%

平成17年中の本県の人口増加は、増加数9,910人、増加率0.16%で、前年（17,337人、0.29%）より減少した。差異（-6,653）を含まない場合、増加数16,563人、増加率0.27%である。

近年の人口増加の推移を増加率で見ると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成17年には0.16%、差異を含めない場合でも0.27%となった。

自然増加数は減少

平成17年中の自然増加は、増加数7,270人（出生51,401人、死亡44,131人）で、前年の12,058人（出生54,029人、死亡41,971人）に比べ出生が2,628人減少し、死亡が2,160人増加して自然増加数は4,788人減少となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）で見ると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成17年は0.12%となった。

社会増加数は減少

平成17年中の社会増加は、増加数2,640人（転入196,019人，転出186,846人，県内の移動-1,339人，その他-5,194人）で，前年の5,279人（転入195,135人，転出188,902人，県内の移動-1,455人，その他-501人）に比べ転入が884人増加し，転出が2,056人減少し，県内の移動が116人増加し，その他が5,695人減少して，社会増加数は前年に比べ2,639人の減少となった。差異（-6,653）を含まない場合，増加数9,293人で，前年に比べ4,014人の増加となった。

近年の社会増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合）で見ると，昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で，そのうち昭和44年は，3.97%と4%に近い高い増加率であったが，昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し，平成17年には0.04%，差異を含まない場合は，0.15%となった。

図3 人口増加率の推移（昭和36年～平成17年）

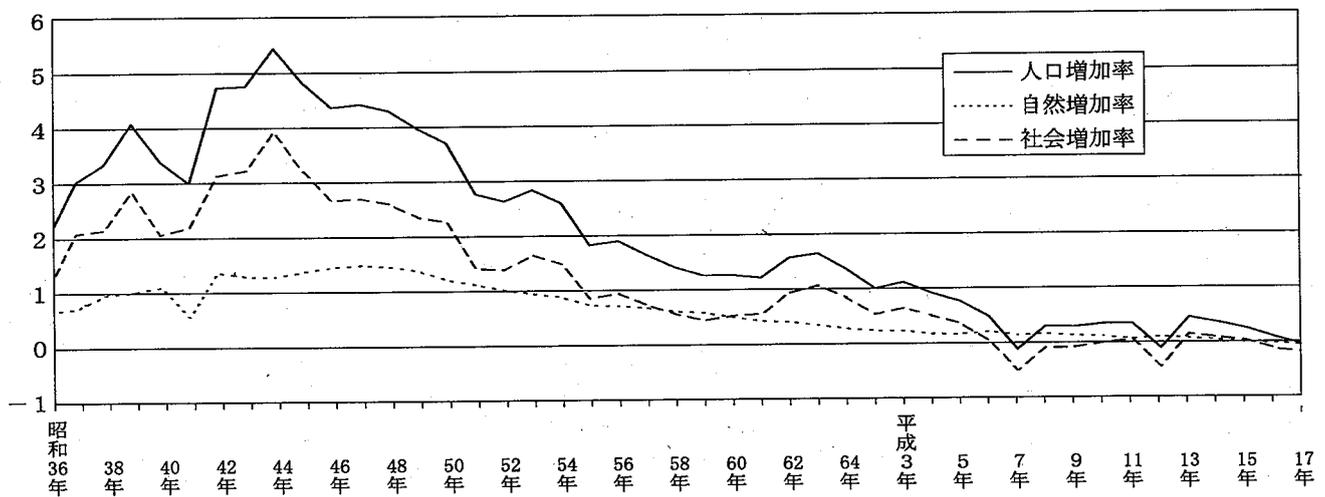


表1 月別動態別人口増加数（平成17年中）

（単位：人）

	人口増加	自然増加			社会増加				
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-127	195	4,660	4,465	-322	11,309	11,203	-552	124
2月中	-939	82	4,014	3,932	-1,021	12,000	12,178	-802	-41
3月中	-5,676	133	4,528	4,395	-5,809	36,043	40,522	-1,450	120
4月中	11,566	245	3,803	3,558	11,321	29,471	20,169	1,586	433
5月中	3,079	862	4,473	3,611	2,217	14,379	12,692	273	257
6月中	663	1,118	4,295	3,177	-455	12,298	12,917	52	216
7月中	249	1,082	4,170	3,088	-833	13,048	13,656	-394	169
8月中	2,784	1,109	4,555	3,446	1,675	15,512	14,067	152	78
9月中	-6,043 (610)	1,080	4,346	3,266	-7,123 (-470)	14,049	14,026	-529	-6,617 (36)
10月中	2,948	987	4,375	3,388	1,961	14,242	12,622	161	180
11月中	1,135	335	4,192	3,857	800	11,947	11,176	-109	138
12月中	271	42	3,990	3,948	229	11,721	11,618	377	-251
計	9,910 (16,563)	7,270	51,401	44,131	2,640 (9,293)	196,019	186,846	-1,339	-5,194 (1,459)

注) その他とは，職権による記載・消除等をいう。

なお，9月中は差異を含む。()内は差異を含まない数値である。(差異については，巻頭の「利用上の注意」参照)

27市町村で人口増加
最高増加率は浦安市2.83%

平成17年中の人口増減を市町村別にみると、27市町村で人口が増加（平成16年33市町村）し、45市町村で減少した。増加数では、千葉市が6,829人（県人口増加数に占める割合68.9%）で最も多く、以下、浦安市3,922人（同39.6%）、船橋市2,159人（同21.8%）、成田市1,475人（同14.9%）、八千代市1,362人（同13.7%）と続いている。逆に、減少数では松戸市が1,557人で最も多く、以下、佐倉市1,323人、木更津市1,123人、茂原市874人、九十九里町803人の順となっている。

また、人口増加率では本埜村が2.83%で最も多く、以下、浦安市2.58%、大網白里町1.70%、成田市1.48%、長柄町1.37%と続いている。逆に減少率では九十九里町が4.07%で最も高く、以下、白浜町2.91%、下総町2.43%、山武町2.33%、丸山町2.11%の順となっている。（ただし、差異を含めた数値による。）

表2 人口増減数上位5市町村（平成13年～平成17年）

順位	平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年	
	市町村	増加数								
1	千葉市	8,725 ^人	千葉市	8,730 ^人	千葉市	7,611 ^人	千葉市	5,244 ^人	千葉市	6,829 ^人
2	市川市	7,077	船橋市	6,196	浦安市	6,050	浦安市	4,022	浦安市	3,922
3	浦安市	4,871	市川市	5,543	船橋市	4,471	船橋市	3,355	船橋市	2,159
4	船橋市	4,766	八千代市	3,216	八千代市	2,181	八千代市	1,881	成田市	1,475
5	松戸市	3,108	浦安市	3,028	松戸市	2,152	習志野市	1,447	八千代市	1,362
順位	平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年	
	市町村	減少数								
1	銚子市	643 ^人	銚子市	861 ^人	銚子市	960 ^人	銚子市	803 ^人	松戸市	1,557 ^人
2	富津市	486	富津市	506	富津市	549	富津市	541	佐倉市	1,323
3	小見川町	368	佐原市	479	野田市	504	君津市	413	木更津市	1,123
4	館山市	365	印西市	371	佐原市	358	佐原市	402	茂原市	874
5	君津市	364	君津市	318	勝浦市	343	勝浦市	303	九十九里町	803

表3 人口増減率上位5市町村（平成13年～平成17年）

順位	平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年	
	市町村	増加率								
1	印旛村	5.91%	浦安市	2.18%	浦安市	4.27%	浦安市	2.72%	本埜村	2.83%
2	浦安市	3.64	印旛村	2.08	白井市	2.63	酒々井町	2.26	浦安市	2.58
3	八街市	1.98	八千代市	1.87	酒々井町	2.20	白井市	1.19	大網白里町	1.70
4	八千代市	1.63	酒々井町	1.64	印旛村	1.74	八千代市	1.06	成田市	1.48
5	市川市	1.57	市川市	1.21	長生村	1.50	成田市	1.01	長柄町	1.37
順位	平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年	
	市町村	減少率								
1	鋸南町	1.54%	睦沢町	2.13%	長南町	2.07%	干潟町	1.52%	九十九里町	4.07%
2	白浜町	1.50	富浦町	1.75	天津小湊町	2.05	大多喜町	1.41	白浜町	2.91
3	小見川町	1.41	下総町	1.68	千倉町	1.70	勝浦市	1.34	下総町	2.43
4	干潟町	1.39	富山町	1.41	鋸南町	1.65	千倉町	1.31	山武町	2.33
5	丸山町	1.37	白浜町	1.35	勝浦市	1.49	夷隅町	1.28	丸山町	2.11

注）平成17年度は差異を含む。（差異については巻頭の「利用の注意」参照）

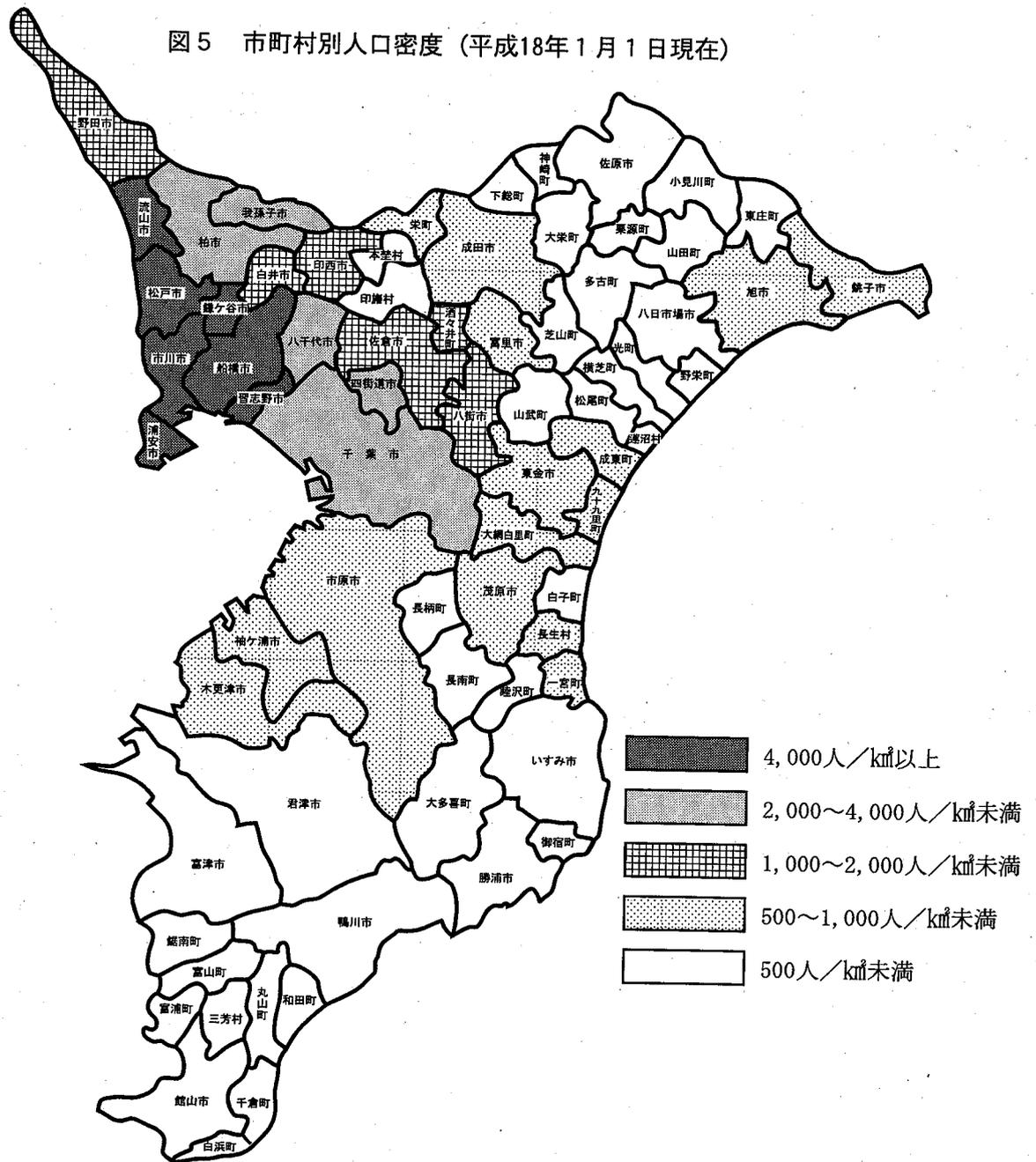
3. 人口密度

県人口密度1,175.3人/km²
市町村別人口密度は浦安市
が8,996.8人/km²で最高

本県の人口密度は、平成18年1月1日現在1,175.3人/km²で、前年の人口密度(1,173.4人/km²)に比べ1.9人/km²高くなった。市郡別にみると、市部1,527.3人/km²、郡部318.8人/km²で、市部は郡部の約5倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が8,996.8人/km²で最も高く、以下、市川市8,111.0人/km²、松戸市7,706.1人/km²、習志野市7,571.0人/km²、船橋市6,663.0人/km²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町88.6人/km²、丸山町123.3人/km²、三芳村137.0人/km²、富山町142.0人/km²、長南町150.0人/km²の順となっている。

図5 市町村別人口密度 (平成18年1月1日現在)



4. 人口性比

県人口性比100.0

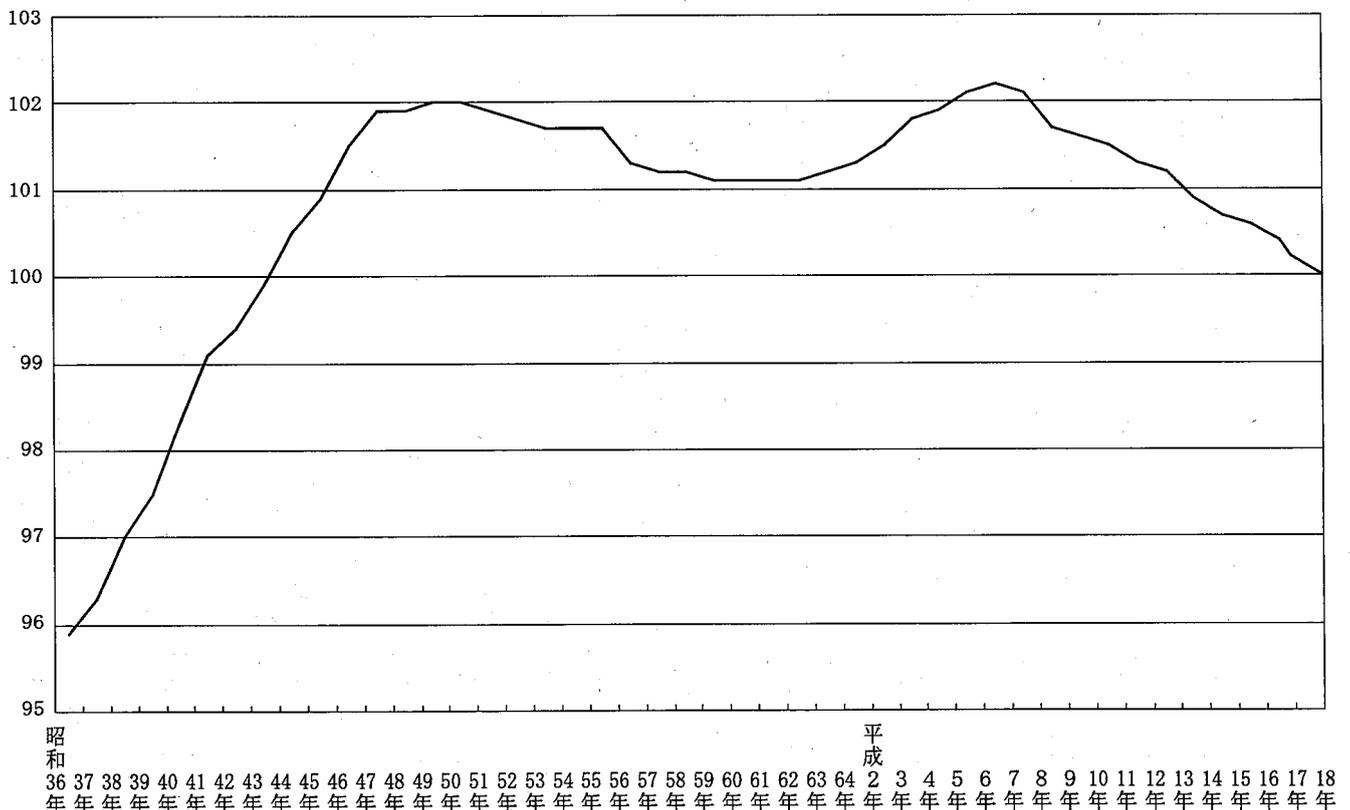
平成18年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子3,030,550人、女子3,029,963人で男子が女子に比べ587人多く、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、100.0で前年（100.2）に比べ0.2ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、勝浦市の105.8が最も高く、以下、市川市105.4、市原市104.7、富里市・浦安市104.1で、逆に最も低いのは白浜町の83.5で、以下、千倉町87.8、富浦町89.0、鴨川市89.1、御宿町89.6となっている。

100以上の市町村は18市町で、100未満の市町村は54市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在でみると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を越え、昭和50年には102.0、以降は徐々に低下したが、昭和63年以降は再度上昇し、平成6年には、過去最高の102.2となった。

図6 人口性比（昭和36年～平成18年、各年1月1日現在）



5. 世帯数

平成18年1月1日現在の本県の世帯数は233万世帯、1世帯当たり人員は2.60人

平成18年1月1日現在の本県の世帯数は2,329,868世帯で、前年の世帯数2,329,683世帯に比べて185世帯増加し、増加率では0.01%と

なっている。差異を含めない場合、増加数32,429世帯、増加率1.39%である。

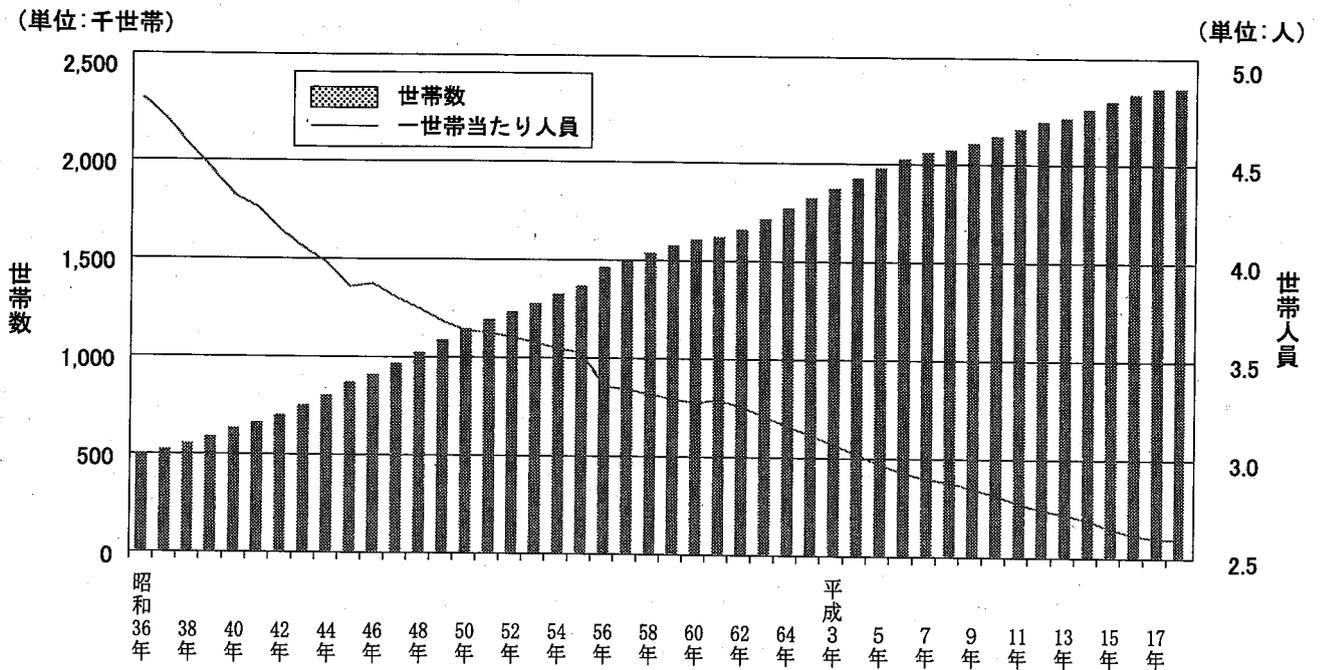
1世帯当たり人員は2.60人で、前年の2.60人に比べ増減はなかった。また、1世帯当たり人員を市町村別にみると、山田町の3.78人が最も多く、以下、野栄町の3.62人、東庄町3.54人、栗源町3.51人、蓮沼村3.48人と続き、逆に最も少ないのは市川市の2.24人で、以下、浦安市2.31人、勝浦市2.39人、船橋市2.44人、習志野市2.45人の順となっている。県の1世帯当たり人員より少ないのは11市町で、多いのは61市町村となっている。

表4 月別世帯増加数（平成17年中）

	増加数	転入	転出	その他
1月中	102	6,198	5,917	-179
2月中	523	6,688	6,119	-46
3月中	5,488	20,075	16,406	1,819
4月中	11,424	18,141	9,468	2,751
5月中	3,198	8,305	6,161	1,054
6月中	1,253	6,952	6,546	847
7月中	946	6,997	6,650	599
8月中	2,100	8,069	6,915	946
9月中	-30,548 (1,696)	7,754	7,029	-31,273 (971)
10月中	3,179	7,865	6,247	1,561
11月中	1,945	6,602	5,544	887
12月中	575	6,050	5,967	492
計	185 (32,429)	109,696	88,969	-20,542 (11,702)

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。
なお、9月中は差異を含む。()内は差異を含まない数値である。

図7 世帯数及び世帯人員数の推移（各年1月1日現在）



6. 県外との人口移動

人口移動総数38万人
移動率6.32%

平成17年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、382,865人で前年の384,037人に比べ1,172人減少し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.32%と、前年の6.35%に比べて0.02ポイント低下した。

9千人の転入超過
転入超過率0.15%

平成17年中の県外からの転入者数は196,019人（前年195,135人）、転出者数186,846人（同188,902人）で、転入超過数9,173人（同6,233人）となり、転入超過数は2,940人増加した。

また、平成17年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.15%と、前年の0.10%に比べて0.05ポイント増加した。なお、県外との関係は41の都道府県から転入超過となり、5都道府県へは転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成2年～平成17年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成2	432,300人	7.79%	43,116人	0.78%	237,708人	194,592人	5,546,610人
3	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
4	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成13年～平成17年）

順位	平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年	
	都道府県	転入超過数								
1	大阪府	2,387人	大阪府	2,749人	大阪府	1,648人	大阪府	1,543人	北海道	1,570人
2	茨城県	1,385	茨城県	1,376	茨城県	1,239	北海道	1,058	大阪府	1,255
3	北海道	1,371	宮城県	1,303	北海道	1,033	福岡県	787	埼玉県	1,222
4	埼玉県	1,185	兵庫県	1,086	兵庫県	785	兵庫県	758	茨城県	1,088
5	宮城県	1,032	北海道	936	福岡県	730	宮城県	750	宮城県	998
順位	平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年	
	都道府県	転出超過数								
1	東京都	3,396人	東京都	3,657人	東京都	2,157人	東京都	7,991人	東京都	8,408人
2	神奈川県	437	神奈川県	1,581	神奈川県	859	神奈川県	1,708	神奈川県	1,661
3	香川県	2	島根県	20	沖縄県	36	栃木県	103	愛知県	304
4	沖縄県	2			佐賀県	19			島根県	16
5									山梨県	1

7. 人口重心

人口重心は千葉市花見川区
畑町付近

本県の人口重心は、平成17年10月1日現在で、千葉市花見川区畑町付近の東経140度5分9秒・北緯35度39分47秒の位置にあり、平成12年国勢調査（平成12年10月1日現在）時点より南西方向に約400m移動した。

大正9年の人口重心は、市原市瀬又付近であるが、その後、人口重心は北西方向に移動してきている。

注) 人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持っているとして、地域内の人口を1点で支えて平衡を保つことのできる点をいう。これは、人口の地域分布状況を集約して示す指標の一つである。なお、千葉県の人口重心の計算にあたっては、県内各市町村の人口重心がそれぞれ現在の市役所・町村役場にあると仮定した。

表7 千葉県の人口重心の推移（大正9年～平成17年）

年次	東 度	分	経 秒	北 度	分	緯 秒	移動距離 km	位 置
大正9年	140	12	38	35	32	25	—	市原市瀬又付近
大正14年	140	12	24	35	32	49	0.8	千葉市誉田町付近
昭和5年	140	12	23	35	33	12	0.7	〃
昭和10年	140	12	22	35	33	29	0.5	〃
昭和15年	140	12	9	35	33	50	0.7	千葉市平山町付近
昭和22年	140	11	30	35	34	7	1.1	〃
昭和25年	140	11	24	35	34	18	0.4	〃
昭和30年	140	10	57	35	34	44	1.0	〃
昭和35年	140	10	8	35	35	23	1.7	千葉市仁戸名町付近
昭和40年	140	8	19	35	36	45	3.7	千葉市貝塚町付近
昭和45年	140	6	43	35	37	34	2.9	千葉市轟町付近
昭和50年	140	5	52	35	38	20	1.9	千葉市小仲台付近
昭和55年	140	5	27	35	38	53	1.2	千葉市小中台町付近
昭和60年	140	5	15	35	39	10	0.6	千葉市朝日ヶ丘付近
平成2年	140	5	8	35	39	28	0.6	千葉市畑町付近
平成7年	140	5	20	35	39	49	0.7	千葉市花見川区畑町付近
平成12年	140	5	20	35	39	54	0.2	〃
平成17年	140	5	9	35	39	47	0.4	〃

資料：大正9年～平成17年は、国勢調査結果による（各年10月1日現在）

（ただし、平成17年は速報値）

図8 人口重心の移動（大正9年～平成17年）

